

# 第1章 計画の目的と位置づけ



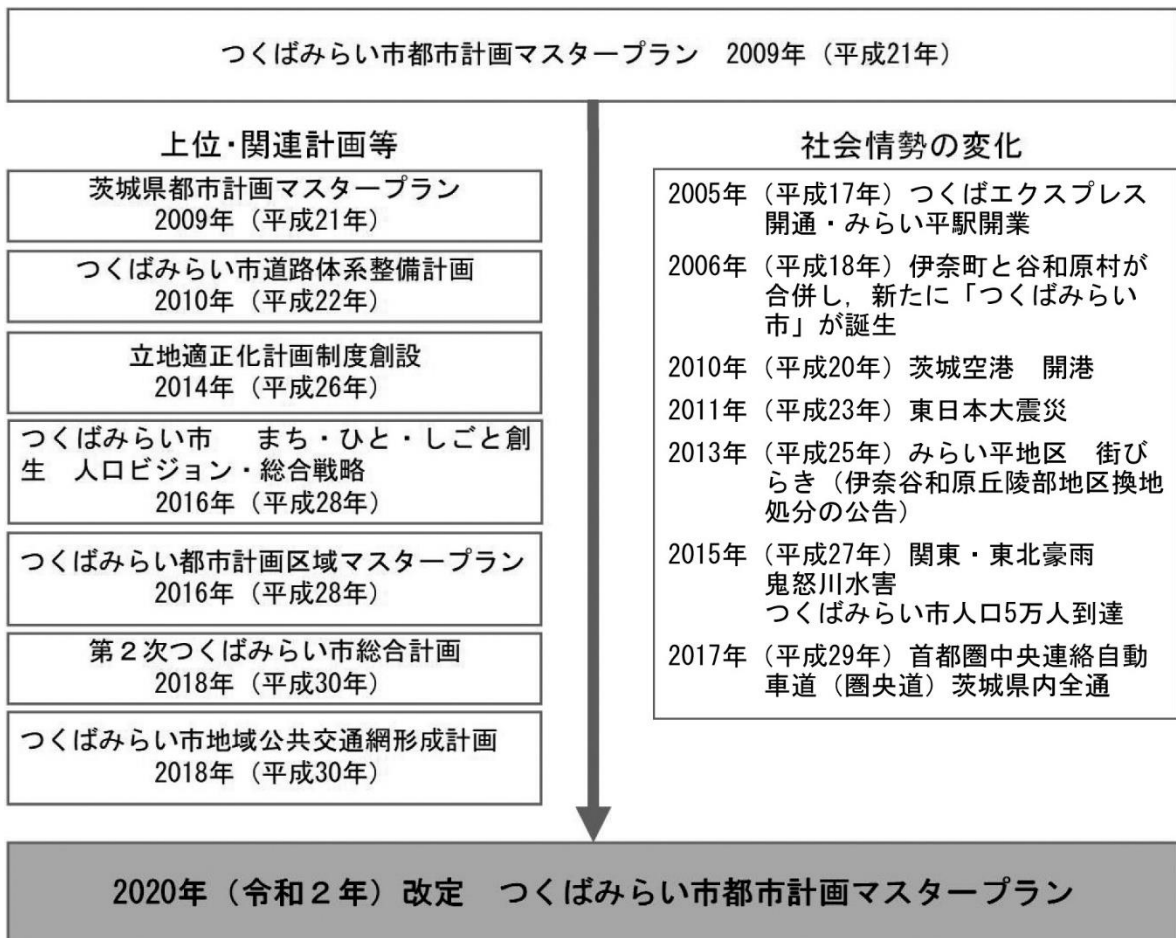
# 1 計画改定の背景と目的

本市は茨城県の南西部、都心から40km圏に位置しています。東はつくば市と龍ケ崎市、西と北は常総市、南は取手市と守谷市にそれぞれ接しており、市域面積は79.16km<sup>2</sup>（東西約10km、南北は約12km、標高約5～24m）となっています。2006年（平成18年）3月、伊奈町と谷和原村が合併し、約人口5万人（49,136人、2015年国勢調査）の「つくばみらい市」が誕生しました。茨城県都市計画マスタープランでは、栃木・埼玉との連携する県際連携都市群として位置づけられています。

2010年（平成22年）に「つくばみらい市都市計画マスタープラン」（現行計画）の策定から、上位計画となる「つくばみらい市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略 2016年」や「第2次つくばみらい市総合計画 2018年」が策定される一方で、全国的に人口が減少に転じ、少子高齢化が進展するなどの大きな変化とともに、地球環境問題への対応や東日本大震災（2011年）や関東・東北豪雨鬼怒川災害（2015年）を契機とする防災意識の高まりなど、社会情勢は大きく変化しています。

これらの動向に対応し、将来に向けて新たな都市づくりを進めるため、上位計画である「第2次つくばみらい市総合計画」に即し、関連する「茨城県都市計画マスタープラン 2009年」と整合を図りつつ、本計画の改定を図ります。

## 改定の背景



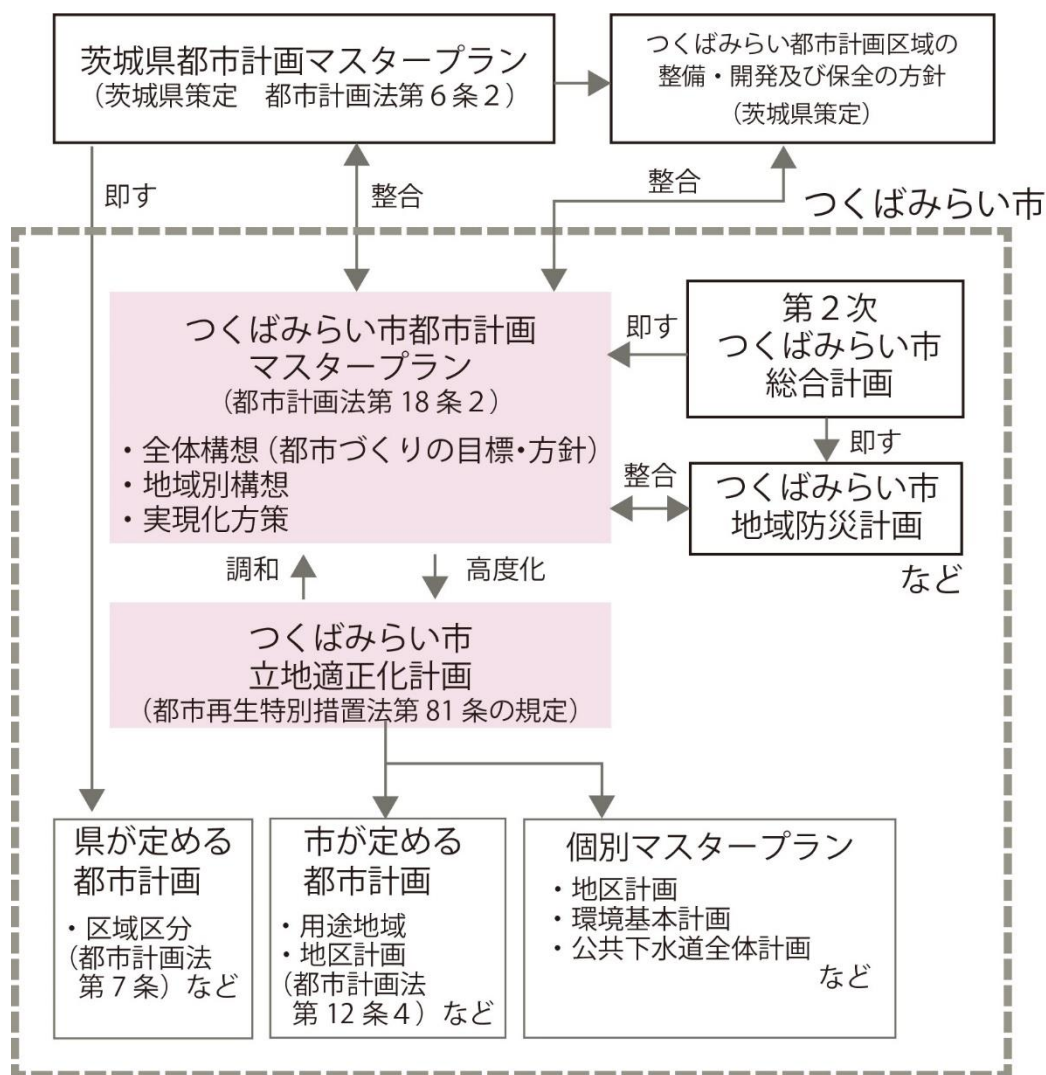
## 2 都市計画マスタープランの位置づけ

都市計画マスタープランとは、都市計画法第 18 条の 2 に規定されている各市町村の都市計画に関する基本的な方針を明らかにするために策定する計画であり、今回、改定を図る「つくばみらい市都市計画マスタープラン」では、過年度の計画の実績と課題を評価し、「第 2 次つくばみらい市総合計画」に掲げる将来像を踏まえるとともに、さらにその先を見据えた将来像を実現していくために必要となる都市づくり（都市計画等）の基本的な方向を示します。

この計画は、茨城県による「茨城県都市計画マスタープラン」や「つくばみらい都市計画区域マスタープラン（都市計画区域の整備、開発及び保全の方針）」等との整合のもと、社会経済情勢の変化や時代の潮流等を踏まえた策定を図ります。

個別のマスタープランや市の定める都市計画などは、今回定める「つくばみらい市都市計画マスタープラン」に即して定めます。

### 都市計画マスタープランの位置づけ

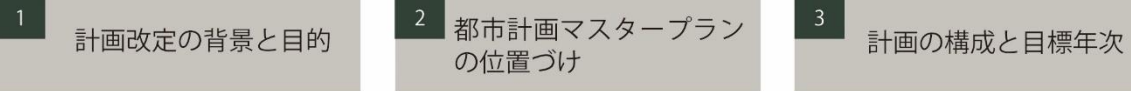


### 3 計画の構成と目標年次

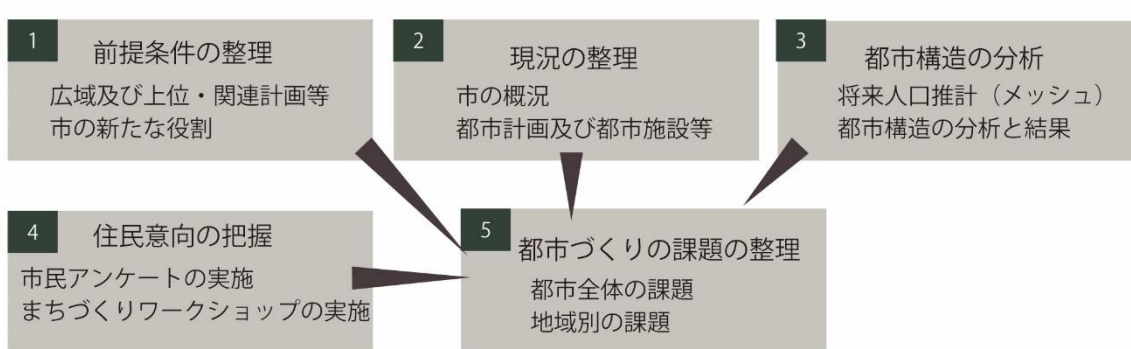
次に「本計画の構成」と「目標年次（計画期間）」は、以下の通りとします。

#### 〈本計画の構成〉

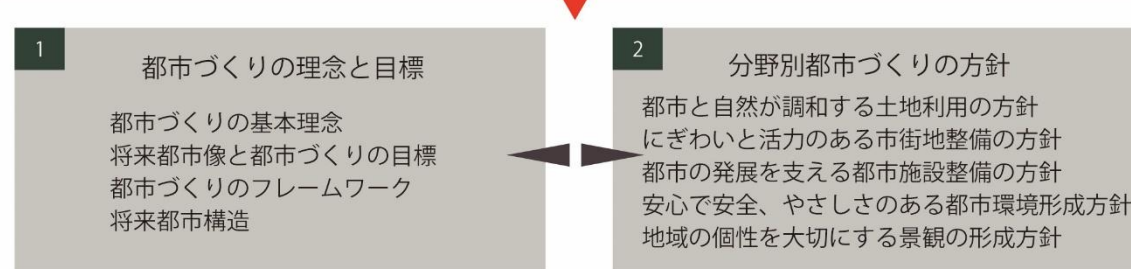
#### 第1章 計画の目的と位置づけ



#### 第2章 都市づくりの諸条件の整理



#### 第3章 全体構想



#### 第4章 実現化方策



## 〈目標年次〉

都市計画運用指針においては、「都市計画区域マスタープランにおいては、おおむね 20 年後の都市の姿を展望した上で都市計画の基本的方向が定められることが望ましい。」としています。併せて、本市の基本的なまちづくりを定めた「第2次つくばみらい市総合計画」の基本構想では、「2018年度（平成30年度）～2027年度の10年間」を計画期間としています。

本計画においては、都市計画マスタープランの役割である「都市の発展の動向、都市計画区域における人口、産業の現状及び将来の見通し等を勘案して、中長期的視点に立った都市の将来像を明確にするとともにその実現に向けての大きな道筋を明らかにし、当該都市計画区域における都市計画の基本的な方向性を示すもの」から、その計画期間を2020年度（令和2年度）から2040年度（令和22年度）の20年間とし、目標年次を2040年度（令和22年度）とします。

### ■目標年次

